

湯築・道後地区タウンミーティング

平成24年7月6日（金曜）

【市長】 皆さんこんばんは。皆様方には平日の夜間、仕事でお疲れの方もいらっしゃると思うんですが、このようにたくさんの方に集まっていただきましてありがとうございます。このタウンミーティングの開催に当たりましては湯築地区広報委員会の藤井会長さん、また道後地区広報委員会の吉岡会長さんをはじめ地区の役員の皆様方にお力添えをいただきました。心から感謝申し上げます。さてこのタウンミーティングは私が就任させていただいてから始めさせていただいております。公民館本館でいいますと松山市は41地区に分かれます。その公民館本館ごとに開催をしておりますけれども、市役所の職員は市役所で皆さんが来られるのを待ってるのが一般的だと思いますけれども、もう一步進めて私たちのほうから各地区に出向いていこうと考えました。そのほうが各地区の課題とか問題点を教えていただきやすいのではないかと思います。また、意見交換1のところで「湯築・道後地区の魅力について」とありますけれども、やはり、その地区の魅力を活かしたまちづくりをしていくことが、その地区にとって一番大事なことだと思います。例えば、行政が主体になって、41地区のまちづくりをしていたならば、41地区同じような、どこを切っても同じような金太郎あめのようなまちが41できてしまいます。その41の集合体である松山市というのはあまりおもしろいまちではない。それぞれの地区にお住まいの皆さんが、やっぱり一番地区の魅力を知ってらっしゃると思いますので、その魅力を教えていただく。そして、それを活かしたまちづくりを各地区ですていくことが大事。その各地区の魅力を活かして41の集合体の松山市はより輝くことが言えると思います。今回、41地区のタウンミーティング、今回で28地区目になります。この松山市版タウンミーティングの特徴は、私たちが出て行きますっていうのがまず一つで、もう一つは、やりっぱなしにはしない、聞きっぱなしにはしないというのが特徴です。以前、国が中心になってタウンミーティングをしたことがありましたけれども、それはちょっと批判されましたが、ガス抜きみたいなことを言われるようなこともありました。でも、松山市版のタウンミーティングは、ここで答えできることはすぐにお答えをいたします。すぐにお答えできないもの、例えば、国と

かかわる問題であったり、県とかかわる問題であったり、また財政的な問題があるものであったり、そういうものはいったん持ち帰らせていただいて、一カ月がめどになりますけども、必ず検討をさせていただきます。やりっぱなしにする、聞きっぱなしにするとある意味楽なんですけども、松山市版のタウンミーティングはそれはいたしません。聞きっぱなしにはしない、やりっぱなしにはしないというのが松山市版のタウンミーティングの特徴でございます。また、すぐに市政に反映できるものはできるだけ早く、スピード感を持って対応をしております。それでは松山市の仕事は本当に幅広い範囲にまたがりますけれども、各部の部長、企画官、課長が来ておりますので、自己紹介をいたします。

【市民部長】 皆さんこんばんは、市民部長の三好と申します。このタウンミーティングを統括しております。普段の業務といたしましては窓口におけるサービスの提供、市民課とか22の支所7つの出張所、3つの市民サービスセンター。それから消費生活センター、パスポートセンターを所管しております。一方、地域における住民主体のまちづくり、男女共同参画、人権啓発、こういった幅広い仕事をしております。今日はよろしくお願ひします。

【社会福祉担当部長】 皆様こんばんは、保健福祉全般を担当しております社会福祉担当部長の大濱でございます。本日はよろしくお願ひをいたします。

【企画政策課】 こんばんは。松山市の総合計画とか複数の部局にまたがる事業の調整を担当しております企画政策課の河合と申します。どうぞよろしくお願ひします。

【産業政策課長】 皆さんこんばんは、産業政策課長の大崎でございます。産業経済部におきましては観光客の誘客、地域経済の活性化などに努めております。どうぞよろしくお願ひします。

【都市政策課長】 皆さんこんばんは、都市政策課の白石と申します。都市整備部では道路、公園等の整備及び維持管理を行っております。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

【教育委員会事務局企画官】 皆さんこんばんは、教育委員会事務局企画官の渡部と申します。教育委員会では、学校とか、ここの子規記念博物館も教育委員会の所管です。よろしくお願ひします。

【市長】 はい、以上6人でございます。それでは今からいよいよタウンミーテ

イングに入ってまいりますけれど、90分間という時間ですので、緊張していると、肩ひじ張っているとさすがに疲れてまいりますので、今日は皆さんとぎっくばらんがいい議論ができるといいと思っております。どうぞよろしく願います。

【男性】 本日、湯築・道後地区のタウンミーティングに野志市長さんはじめ多くの方々に参加いただき本当にありがとうございます。今日の日を多くの方々が楽しみにしてまいりました。簡単に湯築・道後地区の魅力についてお話させていただきます。ご存知のように、道後には三千年の歴史を持つ道後温泉があり、全国各地から多くの観光客の方に来ていただいております。近くには一遍上人で有名な宝厳寺、少し東へ行けば51番札所石手寺など多くの文化施設や観光施設がございます。私も個人的にいろんなところに旅行に行くわけですが、先々で愛媛県から来ましたというと、うーんという感じなんですけど、道後の松山から来ましたと言ったら、なるほどと全員がわかってくれます。隣の香川県やないけど、道後県松山市、こう言ってもいいんじゃないかと思っているくらいです。さて、近くの道後小学校、湯築小学校の子どもたちが観光キッズとして観光客の方々の案内をしています。地域の方々も、全国から来られる観光客にお接待の心で接しております。小学校の子どもたちには転校生が多く、都会から来られる方もたくさんおいでます。そこで公民館としては、子どもたちに自然体験をしてもらいたく春にはタケノコ掘り、6月には田植え、10月には稲刈り、12月は地域の方々と世代交流のもちつき大会等、さまざまな事業を行っております。地域の子どもたちは地域で守るをモットーに、子どもたちが事件、事故に遭わないように地域が一つになって見守っております。以上で説明を終わらせていただきますが、本日はどうかよろしく願います。

【男性】 湯築地区の魅力についてお話させていただきます。先ほども言われましたが、なんといってもやはり、湯築・道後地区のお宝は道後温泉。日本最古の温泉といわれ、私らが小さいころは二千年といわれたのが、いつのまにか三千年になって、その裏付けは、湯神社から縄文式の土器が出た、それが決定しますと三千年ぐらいじゃなかろうかということからその説が出たということが有力でございます。もう一つは神様伝説です。大国主命とか少彦名命。この伝説ゆかりの地、そしてその名残を残してる玉の石。この玉の石。これこそが残っているの

が神よりの印ということです。そしてこれを現在の松山市が経営して、道後の温泉まつりとか初子祭とか、温泉ゆかりの行事も松山市もご協力いただいておりますけども、非常に厳しい時代になりまして、政教分離とか言われるんですけども、胸を張ってこの道後温泉、業務に携わっていただきたいものです。そして神様行事、仏様行事は我々市民が、それぞれ組織組んでおりますので、そちらで遂行をさせていただきますので、後見人として道後温泉のお宝を守っていただきたいと思います。もう一つが、この周辺で先ほど言われた宝厳寺、円満寺、伊佐爾波神社、重要文化財がひしめいとるわけですね。宝厳寺が一遍上人のご生誕地、円満寺は湯の大地蔵尊とあって、3メートル70センチ以上もある大きなお地蔵さんです。このことは道後の方は意外にご存知ないんですけど、奈良時代に行基さんというお坊さんが来られて、湯釜薬師の湯釜とお地蔵さんを残していかれた。ほかにもたくさんありますけれど、もう一つだけご紹介させていただきたいのが、松山神社と常信寺。これは松山市の方はぜひ知っていただいて、もっと皆さんに知っていただく工夫をしていただきたいですね。松山の名前がついている神社があるんです。松山城の鬼門封じで、北東につくってます。しかもご祭神が天神さん、菅原道真と徳川家光、こんなすばらしい方たちをお祭りしている神社と、その隣の常信寺、お殿様お姫様のお使いになられたお寺があるのに、我々観光業に携わっている商店街のメンバーも含めて、なぜか知名度が薄い。それぞれの場所が、道後温泉本館以外は京都とか奈良のようにしたらもっともっというろんな施設であったり、茶店であったり、いろんなものができてもいいのに、そういうものができてない。こういったものをぜひ我々民間とともに行政の方にもお知恵をいただきながら、より魅力にあるものに磨いていって、まさに玉の光を放っていきたいと思っています。以上です。

【市長】 はい、今日は私皆さんとできるだけお顔を見ながらお話をしたいので立って話をさせていただきます。職員たちは手元にメモがあるので座ったままで発言する形になりますがご了承ください。道後はもう宝がいっぱい、魅力がいっぱいですから、これをどう磨いていくか。地区の皆さんと一緒にどう磨いていくかというのがこれからの課題になると思います。これは、商店街の方にはお話をしたことがあるかと思うんですが、道後村めぐり、せっかくいいコースがあるのに、もっと知っていただきたいというところがあります。と言いますのが、国に

において、国民一人一人が一日三千歩、歩数をのばしていただいたら2,700億円の医療費が削減できるというデータがあります。2,700億円の医療費が削減できたら、医療費でかかっていたはずのお金が別のことに回せるということです。皆さんにできるだけ歩いていただくことができればいいなと思います。三千歩って聞かれると結構遠いんじゃないかと思いますが、大体2キロちょっとです。行きに1キロ、帰りに1キロ。朝に1キロ、夜に1キロと言いましょか、そんなに距離じゃないってことはわかっていただけたと思います。せっかく、街中にいろいろウォーキングコースをつくってあげればと思って、今歩いて楽しいまちづくり、歩いて健康まちづくりというので、花園町もより魅力アップしていきましょかと言ってるんですけども、道後村めぐり、昔からいいコースがあるんです。しかも風景もいい。ちょっと私は心臓が悪いんよ、足が悪いんよ、腰が悪いんよっていうおじいちゃん、おばあちゃんにはちょっときついかもしれないですけども、元気な方にはアップダウンもあるすばらしいコースですから、例えば、道後村めぐりを皆さんと一緒により磨いていくこともできるのではないかと思います。

【男性】 今日、行政の方、地域の方がお集まりですので、手紙をご披露したいと思います。東北地方の震災にあった学生さんたちに愛媛県と松山市が修学旅行を助成しようという事業を始めております。そして道後に来られた学生さんたちから商店街が俳句を募集して、いい俳句にはプレゼントをいたしました。その礼状が福島県立浪江高校の女子生徒から届きましたので、皆さんにご披露申し上げます。

「福島の桜は、ようやく蕾が膨らみ始めてきました。道後温泉商店街振興組合の皆様はいかがお過ごしでしょうか。この度は俳句大賞の賞品をありがとうございました。

さて、愛媛へ修学旅行に行ってからもう5カ月が経ちます。私たちの通っている浪江高校は、今年度から本宮というところに引っ越しをし、仮設校舎で勉学に励んでいます。震災があり、「修学旅行に行けない」と告げられたとき、頭が真っ白になりました。

とても楽しみにしていたからです。そして、特別な思い出がないまま高校生活が終わってしまうと思っていました。そんなとき、愛媛の皆さんのご協力で、修学旅行に行けるとなったとき、とっても嬉しかったです。

愛媛の皆さんは、笑顔がとても似合う優しい方々ばかりでした。私たちが感謝をしなければならないのに、「愛媛に来てくれてありがとう」「頑張ってるね」とたくさんの方から声をかけていただき、元気が出ました。

愛媛の石手寺を訪れて書いた「お砂なで 願いよ届け 冬の星」という俳句が、大賞に選ばれたことをとても驚いています。この俳句には、原発がよくなるように、浪江町が1日でも早く復興するようという願いが込められています。いつその願いが叶うかはわかりませんが、私たちは決して諦めず、前向きに歩んでいきます。

大賞の賞品でいただいたポンジュースは濃厚でおいしかったです。この味は、絶対に忘れません。そして大人になってまた愛媛県に行きたいです。

私たちに思い出をくださった、愛媛県知事様を始め愛媛県の皆様には、本当に感謝しています。これからもお体に気をつけて、頑張ってください。

平成24年4月 浪江高等学校 ○○ ○○」

皆さんいかがですか、旅の力、俳句の力は素晴らしいですね。以上です。

【男性】 私は道後のまち歴史から始まって文化といい本当にどなたもご存じのように、私たちはそこにいるからわからないことだらけですが、実は特に深くかかわらせていただいたことが約2年前の愚陀仏庵誘致です。この件は別に行政に今日ご返答いただくものでもございませんし、これは、誇れるまちづくり委員会を主体として、各同志が思い切りやらしていただきました。決定には至っておりませんが、いつお見えになられてもよいように土地もございますし、私たちもただ「してください、来てください」ではなくて、一つ一つ、目に見えない、あまりぱっとする行動ではなくても心を込めて続けております。私はあの^{しょうにん}上人坂は道後に残された最後の宝のエリアだと思えます。もう道後には、あのエリアしかないと思っております。あのまちに、また道後の新しい名所が生まれて全国津々浦々の人たちが足を運んでいただいて、一遍上人の誕生寺の宝巖寺の門前町が栄える姿を夢にまで見ております。きっと必ずよくなると僕は信じております。すべてのことは熱く思った一人の人から始まるものだと思っております。皆さん、この道後は、松山知らなくても道後だといったら知っております。それくらい有名な舞台で、私たち道後人、松山の人そして行政の皆さん、タウンミーティングの趣旨でもございますように、地域住民と行政が手を携えて、知恵を出し合って、よ

り一層すばらしいまちをつくっていくのが私たち道後人の務めではないかと思っております。

【市長】 はい、ありがとうございます。私が今着ておりますのは伊予絣のシャツでございます。これは伊予絣の組合と銀天街の紳士服店が共同してつくってくれたもので、私は意気に感じて今年のクールビズ期間中着ようと思いました。なぜか、行政からいうと民間の皆様方が動いてくださるといのは非常にありがたいことです。司会の前神も冒頭で申し上げましたように、行政と民間の方が一体になってまちづくりをできるというのが大事です。例えば行政からぼんと建物与えられたら愛着もないと思うんで、守っていこうという気もしないと思うんです。やっぱり行政と民間が一体となって、伊予絣の話に戻ると、伊予絣の組合としたらできるだけ伊予絣使いたかったと思うんですけども、部分に収めてます。これはマーケットを考えたら伊予絣をいっぱい使うと値段がどうしても上がってしまう、部分的にすることで4,900円という値段にした。民間の方が動いていただいた、そして自分たちのことだけを考えてやっておるのではないというところに意気に感じました。「言うは易し、行ふは難し」という言葉があります、この道後の様々なことに関しては、行政と民間が一体になって手を携えてやっていきたいと思っております、よろしく申し上げます。

【男性】 広報委員をやっております。南寿町というのにはぎたつ通りがあります。ちょうどにぎたつ通りのところがごみ収集所になってマンションが多いわけです。ごみを捨てるのはその人のモラルがあって、もう何というか守らないわけですね。それでペットとプラスチック、これです。ごみ収集の人も、ペットの中にプラスチックのラベルが貼ってあったら、持っていかない。キャップが一ついっても青紙を貼って置いていく。捨てた人は取りには来ませんわね。どうするかいうと、私ら広報委員とか町内会長に「こないなとるんやけどどうするんか」と言ってくるわけですね。それは捨てた人にはわからない。すると私ら町内会長とか広報委員とか片づけに行かんといけんです。そういうことになりよるんで、もうちょっと清掃課のごみの収集方法について、なんでペットボトルとプラスチック分かれてあんなふうになって決まってやられよるのかわからないんですけど、もっと緩和していただいて、そやないとペットになりますと台風とか来ると風で飛んでほうぼうへ散りばりますから、汚いんで、そういうところを考え

ていただいてということと、もう一点は、町内会長は88歳の人なんですね、町内会長になる人がいないんです。なんでかというと、みんな逃げるいうか、嫌がるわけですね。そしてどうしてもお前やれというふうに戻ってくるわけです。高齢者、ひとり者が多いですし、町内会長をやる人が限られてくるんです。そういうことになって町内をもう一度松山市で見直していただいて、町内を活発にできる行動をつくっていただきたいと思いますと思ひまして意見を言わしていただきました。

【市民部長】 この清掃、ごみの収集をめぐる問題はタウンミーティングやるときに本当に多く出る項目ですけども、世話する方が非常に苦勞されとるということを何回も伺っております。特に心配されるのが、きちんと分けてくれとつたら集めてくれるけれども、分別の仕方が悪いと置いていかれる。それを何とかしてくれないかという訴えも何度もお聞かせいただいております。ただごみの収集については今、8種11分別でやっておりますけれども、ごみを減量化するためには、市民の皆様のご協力がどうしても必要ですから、ご協力いただきたいというところです。ただ、いつまでも放っておかれたら困る、一生懸命まじめにしてるのに、まちが汚くなるというときは、ぜひ清掃課にご連絡いただきたいと思います。それでも残ってしまうときは、何らかの対策は必ずさせていただきますので、個別の相談をお受けさせていただきたいと思いますと思ひます。

【男性】 ペットとプラスチック分けるというのは松山市で決めたことですか。

【市民部長】 はい、これは松山市で分別をするときに、説明をさせていただきながら決めさせていただきまして、ペットボトルはキャップとラベルはプラスチックでというのは、ペットボトルできちんと分類すると再利用しやすいんです。

【男性】 わかるんですけど年寄りいうたら、ラベルをはぐというのができない。プラスチックとペットの区別がようつけられないんです。

【市民部長】 私も町内会でやっておるんですけど、大きな紙にペットボトル分類の仕方、そのあたりまた終わった後、アドバイスさせていただきます。もう一つ、町内会の会長さんのなり手が無いというお話ですけども、私も町内会の役員をしております、同じ問題があるんですけども、1年ごとに順番にやるとる地区もございますし、3年先とか5年先ぐらいまで決めとるところもありますし、みんなで町内会が円滑に運営できる方法相談していただいて、それでもどうしてもない場合には改めてご相談させていただいたらと思ひますのでよろしくお願ひ

いたします。

【市長】 参考に教えていただきたいんですが、私なんかもキャップのけてラベル捨てんと気持ちが悪いのでそうやってするんですけど、のけにくいとかあるんですか。

【男性】 それと、うちにはマンションが多いんですよ。学生とか夜働いておる方が多いわけですね。だから夜中にぽいと捨ててしまう。ちょうどその角がにぎたつの通りなんですよ、すると観光客もごみ捨ててるじゃないかとぽんと捨てるんです。

【市長】 わかりました。にぎたつ通りもそうですし、観光客が通るところ、道後ならではということを受け止めさせていただきましたので、これ必ず清掃課にも伝えます。学生については、入学式のころとか、また卒業して粗大ごみを置いていくことがありますので、学校を中心にかなり説明をやっているところですので、まだまだ足りてないところがありますので、その辺受け止めさせていただきます。

【男性】 私は松山神社で祝谷伝統文化芸能保存委員会というのを今入っておる委員なんですが、ちょっとお尋ねしたいんですけども、この伝統文化芸能というのは、奴踊りと獅子舞を秋祭りのときに皆さんに披露しておるわけです。これは大体子ども、小学生が獅子舞を主体でやっております。今、非常に問題になっておるのが、後継者、子どもたちが集まらないというのが一つ。それともう一つは、いろいろ道具があるんですけど、その道具が傷んで、修理にもまたお金がかかります。今まで松山神社の人らの寄附とかお祭りの費用の中で工面してやってきてるんですけども、なかなかお金が足りない状態です。それでお聞きしたいのは、伝統芸能というのが松山神社にあれば政教分離の問題とか、宗教の問題とかあつて補助も工面できない気もするんですけど、伝統文化をこれからもずっと発展させていこうとする上で何か方策はないか、行政として何か助けていただけるとはならないかということをお尋ねしたいということがあります。

【市民部長】 文化財についての判断については、教育委員会からさせていただきますが、獅子舞とかみこしとかこういう習俗、宗教というより伝統文化とかそういうものを根ざして活動している場合は、国の自治総合センターが、宝くじの売上金を使って、地域文化の振興発展という形で獅子舞とかみこしとか盆踊りの

ときのやぐらとかに対して整備したり、新しく買ったりそれを修理したりする助成をしております。例年10月くらいに松山市がホームページで申請してくださいという形でやりまして、応募していただく事業ございます。ちなみに今年は二十数件申込みがありまして、8件、この6月議会で採択していただきました。伝統的なものに対して、ぜひこういうのをやりたいといったときに、手を挙げていただきたいと思います。伝統文化について教育委員会から。

【市長】 今の担当課は何課になりますかね。宝くじの。

【市民部長】 宝くじの使いたいという場合は、市民参画まちづくり課になりますので、ぜひ準備しておいてください。1年に1回しか募集はありませんので準備していただいて、募集あったときにぱっと応募していただいて、普段から相談にのりますので、市民参画まちづくり課へお問い合わせください。

【教育委員会事務局企画官】 教育委員会では文化財課が所管しておるんですけど、文化財保護法という法律がございまして、これに指定されますと、無形民俗文化財ということになり、保存団体に対しては、後継者の育成とかそういったことで運営補助ができます。ただし、市内各地区すべての郷土芸能を支援するというのは、市の厳しい財政状況もございまして非常に困難ですので、ご理解をいただいたらと思います。

【市長】 今聞いていただいておわかりのように、皆さんをサポートするメニュー、結構あるんです。清掃のこととか、ちょっと困ったなと思ったら、抱えないで市役所に「ちょっとこんなことあるんやけど、どうやろか」って説明していただくと「こんな方法があるんですよ」「こんなサポートメニューがあるんですよ」ってご提示できるときもありますので、ご相談いただいたらと思います、そのための市役所ですから。よろしくお願いします。

【男性】 ^{いさにわゆきや}伊佐庭如矢の崇拜と顕彰について一言申し上げたいと思います。ご存知のとおり伊佐庭如矢は、近代ツーリズムの祖と言われるべく5つの偉業を成し遂げた方と言われる方もいらして、1つ目は道後温泉本館、2つ目には松山城の廃城を阻止した方、3つ目には道後公園の整備、それから4つ目には道後鉄道の敷設、そして最後に道後湯ざらし団子の串刺し伝説もございまして、数多くの道後温泉にかかわる諸事業に積極的にかかわってこられましたけれど、全くその顕彰が地元でもなされていないという現状でございまして。過去にドラマになったこ

ともなく、映画になったこともなく、そして日本全国に発信されたこともなく本当に奥ゆかしい私たちの行いによりまして、地に埋もれたような状況で今に至っているのではないかなと思っております。松山市のホームページを見ておりましたら産業政策課、伊佐庭如矢顕彰事業、720万の予算がありました。伊佐庭如矢についてしっかりと地元でも議論し、松山市が取り組もうとしております事業に対して、民間としてどのようにお手伝いができるのか、しっかりとこれからも論じてまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

【市長】 逆に私から皆さんに確認をさせてください。先ほど言われたように松山城が廃城になるのを伊佐庭如矢さんが食い止めた、道後温泉本館を道後湯之町初代町長さんとして本館に携わった、坊っちゃん団子のルーツ道後湯ざらし団子をつくった、道後公園の整備、道後鉄道をつくった、この5つの功績について知ってた方お手をお挙げいただけますか。これは私が公約に掲げておりましたのでやります。実は今年の秋ぐらいには、場所もロープウェイ乗り場の2階を活用してできればと思ってたんですが、今は資料の調査を、分類とか専門家の意見をいただきながら資料の精査をしているところです。今、ロープウェイの2階は実は展示したいものがありまして、道後の方にもご協力いただきましたけども、台湾のドラマ、今台湾で放送されております。こちら愛媛では、秋ぐらいから放送される予定です。今2階には、その台湾のドラマのロケで使われたバイオリンなんか置かれているんですけど、せっかく日本で秋口から放送になるんだったら、これから台湾からのお客さんが来ることが予想されますんで、もうちょっとあそこは置いておきたいと思いました。来年1月ぐらいから、如矢さんの顕彰を皆さんの目に見える形でやらせていただこうと思っております。場所はロープウェイ乗り場の2階とか、ここからは具体的なことになりますから、大崎企画官から。

【産業政策課長】 今、言われたとおり、伊佐庭如矢さんの功績というのは数々あるんですけども、大きく4つのことを取り上げることとしております。1つは、町を二分するほど大きな騒ぎになった道後温泉本館を建てたということ、2つ目には明治政府により廃城命令が出たけれど如矢の嘆願書によって松山城が取り壊しから免れたということで、松山城の公園化、3つ目にはインフラ整備、その当時では難しいことだったと思うんですけど、松山への導線を考えた道後鉄道の開設、最後には道後公園の整備、今、湯築城跡という公園、皆さん歩いて回って

るんですけど、この回遊式を取り入れたのも伊佐庭如矢でございます。この4つについて、パネル展示などをして、広く市民の方々に知ってもらおうと思っております。先ほど市長言いましたように、ロープウェイ駅舎、道後は子規記念博物館を予定しております。事業の展開でもう一つ、後世に残るまちづくり支援、専門家を交えて市民の方に如矢の思いや意志を受け継いでいく機会を設定したいと考えております。これが2つ目でございます。最後3つ目は、道後の皆さん、商店街組合や旅館組合にご協力をいただきまして、湯ざらし団子復元できたらおもしろいかなということもありますので、その点では、皆さん地元の方にも協力していただいて、イベントをしていきたいと考えております。時期については、25年1月ごろを予定しております。あと先ほど予算のこと言われたんですが、当初はこの予算720万を業者委託をする予定だったんですけども、旅館組合と相談をさせていただきまして、地元も何かできることあるだろうということで、実行委員会方式に変えまして、松山市から補助金を出して旅館組合、商店街組合さんと協力をしながら、今言った事業以外にも考えられることがあったら一緒に考えていただいて事業を推進してまいりたいと考えております。

【市長】 伊佐庭如矢さんについては、今、ホテルパティオ道後さんの東隣に像がありますけども、あまり地元道後の方でも知らない方もいらっしゃって、まだまだ松山市民の方でも知らない方もいらっしゃると思いますので、しっかりと顕彰して、すばらしい方がおったと分かってもらえるように、皆さんに誇りに感じてもらえるようにしていきたいと思っております。

【男性】 私、宇和島から来て石手に住んで、一番よかったのが自転車で行ける大学が2つもあるということです、愛媛大学と松山大学。松山大学では一般教養として勉強会をやっています。それが松山市文化・スポーツ振興財団いうおかげでやらしてもらったんですけど、その中間に野外研修があるんです。それが私も今度5年目になるんですけど急遽中止になったんです。経済学部の教授と一日かけて直島行ったり、伊方に行ったり、高知の美術館に行ったりしよったんですけども、これが一方的に中止になったもんだから、私たちの唯一の楽しみを取ってしまったというもので、ちょっと聞くところによると予算がないとかそういうことを言っておるんですけど、今日お越しの方でご存知の方ないでしょうかね。

【教育委員会事務局企画官】 先ほど言われました松山市文化・スポーツ振興財

団と松山大学とが連携して松山大学公開講座を開催しております。これは一般教養の講座と悠悠デジタル講座という2つございまして、どちらも大体12、3回くらい連続であります。途中で1回だけ野外研修というのが入っております、実はこれを今年だけ中止とさせていただいております。理由は予算的なものではないと聞いております。アンケート結果で、参加者が予定の半数にも満たなかったというのが一番大きな理由だと聞いております。そのかわり今年はデジタル講座を一つコースを増やして、一般教養に加えてデジタル講座を2コース、合計3コースですということですので今年は決まったということです。ですから今後は、またいろいろアンケートとか継続して行いますので、その結果などをまた反映して来年以降考えていきたいと聞いております。

【男性】 アンケートを取ったいたって私なんかそういう面を出してないですよ。意見聞かれたことはないです。だから一方的じゃないかと思って、その点が。

【教育委員会企画官】 そうではないと聞いております。アンケートとか受講者の方のご意見を聞いた結果だと聞いております。この点は松山市文化・スポーツ振興財団のほうにも確認をしておりますので、必ずいろいろとご意見を伺うこととしておりますのでどうぞよろしく願いいたします。

【男性】 先ほどから聞いておりました本来の環境整備、観光推進というテーマの意見がほとんど出てないようですので私も一つ追加したいんですが、今、政府が国を挙げて海外観光客を誘致ということで全国的に力入れておりますけれども、3.11以来、落ち込んでおりましたけれどもやや最近上向きになってきつつあります、外国人の観光客。私10年前から外国人の、英語圏のボランティアでガイドをさせていただいておる。そこで松山城は立派な観光資源なんですが、松山城を除いて道後温泉、名前は有名なんですが、実際に外国人の観光客は来ても行くとこがないんです。確かに本館の建物は立派ですばらしいんですけど、彼らはあんまり温泉に入りたがらないですから、それ以外の周辺の観光施設は目玉が全くない。大分前に史跡公園が日本庭園になるということで喜んでおったんですが、結果として犬の散歩公園になってしまいましたけど、日本庭園を見たいという外国の観光客結構おるんです。二の丸庭園も日本庭園というほど立派な庭園ではございませんし、道後にもそういう庭園はない。そこで道後にもうちちょっと日本庭園的なもの、あんまり規模は大きくなくていいんですけど、そういうも

のが欲しいと思っております。それとついでに環境整備で、放生園の足湯、夏の暑いときに日影が全くないんです。観光客が暑くて座れない。クスノキとかケヤキとか植えれば葉が茂って緑の木陰ができて憩いの場所になると思います、せっかくの放生園、人が集まるんですけども、影がないということで何とかしてはどうでしょうか。それと同じく史跡公園、これは県の管轄で市は直接関係ないかもわかりませんが、日本庭園がだめなら、植樹をして木をたくさん植えて木陰をつくれば、もうちょっと人は集まるんじゃないかと思ってぜひそういう点をお願いしたいと思います。それから最後つけ加えます、ごみの収集について、私どもの地区では、それぞれの家の名前を書いて出すようにしております。そうしたら違反した人の跡をたどれるようになるので注意できます。比較的名前を書くようになってからはうまくいっておりますのでご紹介しておきます。

【市長】 ありがとうございます。推測ですが、私も同じことを考えたことがあります、日本庭園のことです。堀之内の公園がちょっと木陰がありませんよね。東京の日比谷公園とかを見ると大変緑が多い、木陰も多い、いいなと思ひまして、今度松山で椿サミットが行われますので総合公園を整備するんですが、担当に堀之内公園に大きな木を移してきてくることができないかどうか、するとですね、あの堀之内は史跡の上にあります、文化庁の指示で50センチから1メートルくらい土を上重ねてます、木を植えると根っこが伸びていくので遺跡を壊してしまうということで、文化庁はそういうのはやめてほしいと。芝生を植えるとか土で覆うとかそういう保護に努めてほしいということです、おそらくですけども、道後公園、あそこは県の管轄ですけど、ちょっと難しいのではないかと考えております。でも如矢さんがつくられたと聞いておりますので、道後の庭園も活かすことができたなら、今いい提案をいただいたと思っております。あと日本庭園、放生園とごみの名前のことについて。

【産業政策課長】 まず放生園について、放生園の土地は松山市の土地でございます、今、柳を植えております。ただそれで木陰になるかというのは疑問点がありますので、また地元の意見も聞きながら植栽について検討をしたいと思ひます。ただ足湯のところには、今、赤い日傘があるんですけども、雨が降ると取っ払うということも言われておりますので、何かしら日よけ、雨よけになるものを今年検討していくつもりでございます。

【男性】 今の日傘ちょっと小さいですからね。木で緑の木陰つくるのが一番すばらしいんじゃないか。ただ葉が落ちるから地域の人が嫌だという気はします。もしそれがよければ、大きな木が一番いいんじゃないかと思います。

【産業政策課長】 わかりました。景観にも注意しながら検討したいと考えております。

【市民部長】 今提言いただきましたごみ袋に名前書くというのは、非常にコミュニティがうまくまとまっているということでできたことだと思います。この例を清掃課に伝えさせていただいて、どういう形でやるとかコツとかを、またお伺いさせていただくということで考えていきたいと思います。どうもご提言ありがとうございます。

【男性】 野志市長が松山市には41館あるとおっしゃいました。そのほとんどの公民館にエレベーターがないんです。公民館というのはご存知のように地域の情報の発信の場であり、生涯教育の場であり、いろいろな地域の方が利用されるわけです。足の悪い方とか、3階が講義室なんです、そこまで行けない、いかに高齢者学級、女性学級とか組んだって、いい講師が来ていただいてもその話を聞きに行っても、階段を上れないからよう行けないという人たくさんいるんです。市長にお願いです、ぜひ、すぐには言いません、予算を取っていただいて早期にエレベーターの設置、これはほかの公民館の意見もたぶん一緒だと思うんですが、ぜひ設置をお願いしたいと思います。それともう一点、うちの場合は今男性トイレと女性トイレが一緒です。別々にしていただきたいと思います。

【市長】 はい、それでは大筋の話については私からさせていただきます。公民館については、今、耐震化を先にやらさせていただいております。今、道後公民館にエレベーターをというお話だったんですけど、今、松山市で耐震化を主に進めておりますのは、将来を担う大事な子どもたちが長い時間を過ごす小学校、中学校の耐震化を6年どんと前倒しして、平成23年から小中学校の耐震化を進めております。そして地域の皆さんが長い時間を過ごす公民館も耐震化ができてないところがある。あと下水道とか上水道管とかため池とか、そういうものも耐震化していかなければならないんですけども、ご存知の方もいらっしゃると思います、昭和56年が境になってまして、昭和56年に新しい建築基準になっているんですね。昭和56年から新しい建築物は耐震基準を満たしているんですけど、昭和

56年から前のものは、古い耐震基準ですので今の耐震基準を満たしていない。道後公民館は昭和55年にできてるんですが、耐震基準は満たしているんです。申し訳ないことに今、耐震基準を満たしていない公民館を先に工事させていただきます。耐震化ができてないものが終わったら、道後公民館などのエレベーター設置ができればと思っております。そしてトイレについては、これは確かに男女一緒だとしにくいですよ。これについては市民部長。

【市民部長】 トイレの男女別化ということで、既定の予算がございます。その中で緊急のものから、公民館にとって緊急の課題ということでしたらさっそく持ち帰って、既定の予算の中で取り組めるかどうか、さっそく所管のほうで検討させていただきますのでよろしくお願いいたします。

【女性】 私、4年前県外から来たんですが、今子どもが湯築小学校にいますが、今日は夏休みに入る前の地区集会がありまして、やっぱり不審者、道路の危険箇所、そういうところがいろんなところが出まして、3カ月前は今市の近くで不審者が出たり、今メールでいろんなところで不審者が出る分で、今若い子が30代、40代っていうので変な感じが出たりしてますし、やっぱり危険なものもありますし、道路も前からPTAから直してほしいというところがあるのに、予算的に難しいとか言われて、子どもたちがけがしたりするんですよ。道路の溝でふさがれてないところとかは、狭いところとかあったり、そしたら大分前に子どもがすれ違いざまに自転車でこけて溝のほうに落ちたりとか、それで救急車で運ばれたりとか、危険なところはたくさんあるんですけど、それをPTAが学校側から届けを出しても、ここを直してほしいと言っても、予算がちょっと難しいんでちょっとと言われたりなんかで、直してほしいところも全然直っていないんで、そういうところは本当に子どもたちの安全を守るのであれば、もっとたくさん意見をしてほしいんで、山陰のほうは、市長さんもはじめ地域の皆さんがここが悪いって言ったらすぐ動いてくれてよくなっていったりしてるんで、そういうところを取り入れてもっとよくしてもらえたら、もっと松山、道後、湯築ももっともっとよくなるんじゃないかなと思って、今日こういうところに参加させてもらったんですけど。

【市長】 これは後で場所を改めて確認をさせていただこうと思うんですが、これは白石課長。あとで都市政策課長が道路の担当でありますので、具体的な箇所

を言っていたらと思います。京都の通学路での大変痛ましい事故を受けまして、松山市では緊急点検をすることにいたしました、指示をいたしました。これは教育になりますかね、その緊急点検で、たぶん湯築小学校で洗い出されてると思うんで、そことあってるかどうか。

【教育委員会事務局企画官】 非常に痛ましい事故がございまして、その後すぐに各小中学校に通学路につきまして点検をいたしました。既に我々のところに点検結果が来ております。例えば横断歩道とか、歩道橋とか、信号機とか、あるいは車が非常に速く通るであるとか、いろんな問題がございます。これも区分けをいたしまして、松山市ができること、道路管理者、国とか県とか、それから警察ですとかそういったところ分担してやらなければならない、もちろん、皆さんにも分担してやらなければならないところ、お願いしなければならないところたくさんございます、それを今、仕分けしているところです。仕分け終わりましたら関係部署集まって緊急点検実施するという手はずになっております。湯築小学校の場合は、護国神社の前、あの道路東西に通っているんですけども、あの道路が非常に混雑して通学のとくに危ないといった結果が届いております。

【市民部長】 不審者につきましては、不審者情報、各地域ごと、東、西、南の防犯協会から情報いただいて、ホームページにも載せますし、飲み物の自動販売機出ていると思いますけど、ああいう形で不審者情報についてはできるだけ早くお知らせしております。あと、不審者に声かけられないように、声かけ運動を学校でやっておられたり、地区によっては青色防犯パトロールといった形で、地区の防犯協会と連携して、地区の有志の方が車の上に青色の防犯灯回して、登下校時に回ったりする形でやっておりますので、もし足らざるところがあったら、市民参画まちづくり課に、こういうところ何とかしてほしいと相談していただきましたら、地区でできる運動のことアドバイスさせていただきますので、ぜひお声かけください。

【男性】 道後多幸町に住んでおります。道後の道を考えたときに、道後駅から石手寺の方に拡幅されまして、歩道もありまして非常に安全になっております。また、道後温泉の付近もよくなった、安全になったなと思っております。ただ、何箇所か隘路があると思うんです。例えば、道後温泉から行きますと、八千代さんから西に行くところ、あそこでは離合ができません、片一方で車が待つて、も

う片一方から車が来てという状態になっております。また、松ケ枝町上がるころ、一番上の三叉路のところ、あそこも非常に難しいんじゃないかと思います。こういうところいっぱいあると思います。先ほどもお話がありました、消防車がスムーズに通れるか考えますと、ちょっと心もとないなと思います。拡幅も、予算のこともあるから難しいかもしれませんが、電柱がなくなれば隘路も行けるようになるんじゃないかと思います。松ケ枝町のところですけど、例えば内子の町並み全部電柱を裏側の道に回しました、景観的にもよくなりました。松ケ枝町あたりも電柱を裏の方に移設してなくなれば、すごく景観的にもよくなるのではないかと、電線地中化はあの道では難しいんじゃないかと思います。それから、先ほどこちらで文化財やっていくのにお金がないというようなことございました。ごみの減量にもかかわるんですけど、紙とか資源ごみを地域で集めてお金にして使うというのもあるので、そういう取り組みもされたらいいんじゃないかなと思いました。

【市長】 これは白石課長ですね。

【都市政策課長】 ホテル八千代さんから西側につきましては、県道でございますので、今日の要望等につきましては、県に伝えさせていただきます。それと電柱についてですけど、通常電柱は、民地に入れる場合、所有者の方の承諾が必要です。具体的に教えていただきましたらまた、電力柱かN T T柱かありますが、要望があったことについてはお伝えさせていただきますので、後ほど、教えていただいたらと思います。

【市長】 電柱を地中化するには道の幅がある程度いるんでしたかね。

【都市政策課長】 幅と、電力需要がなかったら。

【市長】 私も内子の町並み、よく知ってますんで。地中化したいと思いましたが、道の幅の問題もあるということを知りました。お金のことについて、いろいろ財政のこと出てきましたので、財政のことについてお話させていただきます。松山市は中四国の中でも財政状況は比較的いいと言われております。そんな松山市の中で1年間に出ていくお金、歳出といいます。一番大きなウエイトを占めるのが民生費、いわゆる福祉にかかるお金です。松山市で1年間で福祉にかかるお金がいちばん大きなウエイト、40パーセント占めています。この福祉にかかるお金が松山市だけで1年間だけで50億円増えたんです。その中には皆さんよく

聞かれる生活保護費が含まれるんですが、松山だけで、1年間だけで20億円増えたんです。財政の状況がいいと言われている松山市でもこんな状況です。中学校で勉強する話ですけど、国から地方には地方交付税交付金とか国庫支出金といった形でお金が回ってくるんですけど、大元の国は今、1,000兆円の借金を抱えていると言われてます。1,000兆円になるまでに誰か止める人おらんかったんかと思うくらいひどい額です。ですから、国が、大元がものすごい借金を抱えてますから、地方に回ってくるお金がこれから増える、膨らんでいくというのは考えにくい、ということは、福祉にかかるお金が50億増えたならば、どこかで50億絞らなければならない。そのうちの生活保護費が20億増えたんだったらどっかで絞らなければならない、財政のバランスは悪くなる一方、下り坂ということになります。こういうふうにタウンミーティングで皆さんからいろんな声を受けて、市長の人気取りのことだけを考えると、わかりましたそれやりましょう、わかりましたそれやりましょう、言うほうが私は楽なんですけど、もちろん必要なものはつくりますけど、どんどんどんどんそういうものつくっていったら、将来の子どもや孫にツケを残すことにほかならない、ましてや将来の子どもたちは少子高齢化ですから、子どもの数が減る、一人一人の負担が大きい、将来、税金を払ってくれる子どもたちですから、その子たちにより多くの負担を背負わすことはいかないですから、どこかでバランスを取らなければいけない、こういう現状がどこの地方自治体にもあるというのをご理解いただければと思っております。どこの自治体もこういう厳しい財政状況で、これを言うと皆さん手が挙がりにくくなるんですけど、それは、言っていた方がいいんです。なぜかと言うと、皆さんの声を受けて、今何をすべきかという優先順位をつけなければなりません。皆さんの声をいただくことが大事ですので、財政のことについてお話をさせていただきましても、これからもどうぞ市に対して、声を上げ続けていただきたいと思います。ちょっと長くなりました。

【女性】 道後町に住んでいます。道後公民館、JAと歯科医院の細い道ですけど、ひめぎんホール、友輪荘にかけての道がとても狭くて横には溝があって、そこが近道らしくて、車がさっと通っていくのでとても危なくて、車自体、プロのタクシーの方も脱輪したの見たことあるし、車自体も危ないし、脱輪するし、車に傷もつけたこともあるし、私、自転車なんですけど、自転車とも離合できない

くらい狭くて、どちらかがバックしないといけなくて、夜とかも向こうから車が来ると溝に落ちそうになったことも何度かあって、危なくて。子どもも通りますし、乳母車も、年配の方もおられるし、犬の散歩をしている方もおられるし、皆さんがとても危ないんで、そこに住んでいる人なら通らないといけないですけど、車両に関してはいっそのこと通行許可書を取って、そこに住んでいる人しか通らないことにしてもらったら、皆さんが安心して安全に通れる道路になると思うんですけど、道後地区の方と東署の方と話し合っただけで検討してもらいたいですけど。よろしくをお願いします。

【市長】 通行許可書という新しいアイデアが出ました。

【都市政策課長】 通常、道路を規制するのは警察ですけど、この場合でも住民の皆さんの同意が必要です。例えば今の許可書というのは非常に難しいと思うんですけど、例えば一方通行にするとか、そういう場合でも沿線の皆さんの同意が必要で、警察と協議になると思いますので、お願いします。

【市長】 私から追加すると、水路があるとふたしてくださいとか、網かけてくださいとか、よくあるんですけど、簡単にいなくて、ふたしてしまうと、いざものが詰まったとき、掃除がしにくいというのもある、もう一方の意見として、道が広くなると車がどんどん通りだして逆に危ないという意見もあるんですよ。ですので、地区の方でどうしたいのか意見統一が必要になってくるようです。一方通行になったらうちはそれ困るという家庭もあるかもしれませんし、そういう合意を、これなかなか難しいですよ、一人の方が。どういうやり方がありますか、合意形成していくために。

【都市政策課長】 まず、一番早いのは周辺の方とお話して、町内会とか、水路ありますから改良区とか関係出てきますから、町内会と改良区を一緒に入っていて、この道路をどうするかというのを決めていただきたいと思います。

【市長】 いいアイデアだと思います。通行許可書とか、一方通行とか、声を上げていただくというのはすごい大事なんですよ、今までやってなかったとしても、松山が初めにやったらいいですよ。ですので、そうやって声を上げていただくことは大事だと思います。持ち帰らせていただいて1カ月をめぐりに地区に返答させていただきます。

【男性】 道後で旅館を運営しております。今、お話いただいた歳出の話大変興

味があるところです。どこの地方自治体もこういう問題抱えていると思います。これを市長どのようにして乗り越えていこうという方向をお持ちなのかをお聞かせいただくと、それに沿ったそれぞれの努力の仕方あるのではないかと思いますので、そのあたりのお考えをお聞かせいただければと思います。

【市長】 比較的財政状況のいい松山市でこれなんで、ほかの自治体も苦勞しているところだと思います。やはり、無駄な支出は避ける、適正化をすることが大事だと思います。途中で申し上げたように、医療費の適正化をしたい、医療費ものすごく大きいですから。できるだけ歩いていただいて皆さんに健康になっていただく、で、医療費の適正化をする。余分な医療費はほかの事業費に回すことができる。このように皆さんの声を、現場、現地を大切にすることが私のスタンスですから、これからも現場に出続けて、皆様のお声をしっかりと伺って、必要なところにお金を配分していくというのも一つのやり方。そして、箱物はこれからはどんどんつくれません、将来の子どもや孫にツケを残すということですから。でも、必要なものはやっていく、松山外環状線、これ必要なのでつくっています。私が今年になってから申し上げている「宝みがきのまちづくり」がそうです。よく言うんですが、やはり、強みを生かしていくことが大事。地方都市に長いこと住んでいると、「うちのまちには何もないよ」とかいうんですが、そうじゃない、松山には宝がいくつもありますよね。それを正しい目で宝としてとらえ、それを磨いていくことが大事ということで、「宝みがきのまちづくり」を掲げております。「た・か・ら・み・が・き」にそれぞれ思いを込めております。「た」、旅の魅力を磨いていくこと、「か」は風早レトロタウン構想で北条の魅力を磨いていくこと、「ら」は愛ランド里島構想で島の魅力を磨いていく、「み」、三津の朝市の活性化をする。松山城、道後温泉、三津の朝市でおいしい魚を食べるようなことができたらいいですよね。「が」、街路整備、市街地の道路を整備して、もっと歩く人、自転車の人に配慮したまちづくりをしていく。最後は「き」、皆さんに前向きな気持ちをもっていただくということです。気持ちというのは、例えば松山は、今年雨は雨が降ってくれましたが、雨の少ない地です。「雨が少ない、少ない」言いよるだけでは何にも変わりませんが、逆に、雨は少ないけれど、太陽がさんさんと降り注ぐところじゃないか。確かに日照時間は全国平均を1割上回る2,055時間。だから、太陽光発電を積極的に進めてきました。国が太陽光発電の補助

をやめても、松山市はずっと補助を続けてきました、だから松山は太陽光発電進んでいます。文句言よったんでは何も変わらん、前向きな発想するといろんなことが生まれてくるんです。これが「宝みがきのまちづくり」ですけども、このようにしっかりと宝を磨いていくことをして、松山の魅力アップに努めていきたい。最後に、松山に行きたいな、松山に住みたいな、松山の物を食べたいな、という都市ブランドを上げていって、全国の中でも選ばれる都市になっていきたいと思っております。観光は月曜日から金曜日までお客様を上げていきたい、そのためには、高齢の方、退職されている方は、別に月火水木金いつ旅行に来ていただいてもかまんですよね、ですからそういう元気なお年寄りの方に平日に来てもらおう、そういうのでまたお客さん増やすことができるんじゃないかなんて思っています。そういうことで、皆様と一緒にまちづくりをしていきたいと思っておりますので、伊予絣のときにお話させていただきましたけれど、行政だけではやれることは限られるんです。松山は、道後絶対欠かすことができないまちなんです。これはやっぱり地元の皆さん一緒に動いていきたい、地元の方がしっかりと頑張っていたいて、行政と両輪になって進んでいかなければ、厳しい都市間競争勝ち抜いていくことはできないと思っております。道後の方も私たち同様、一緒になってこれからの未来に向けてのまちづくりしっかりとしていきたいと思っておりますので、どうぞこれからもよろしくお願いたします。

— 了 —